設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

その1．住棟評価用　　※の欄を設計者が記入のこと

評価対象建築物の名称	
評価対象建築物の所在地	
設計者等の氏名	
評価者氏名	

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書 ※	設計内容確認欄
構造の安定に関すること	耐震等級、その他、耐風等級、耐積雪等級	構造躯体	コンクリート及び配筋	・コンクリートの種類（　　） ・コンクリートの強度（　　） ・主筋の寸法・径 （　　） ・部材の寸法、種類 （　　） ・部材相互の接合方法 （　　）	□ 計算書 □ 仕様書 □ 構造伏図 □ 矩計図 □	
			免震建築物	□ 免震建築物 □ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号に規定されるもの ・同告示第2の該当する号 □ 一（四号建築物） □ 二（建築基準法第20条第二号に掲げる建築物） □ 三（時刻歴応答解析を行い大臣認定取得） ・免震層・免震材料の維持管理に関する計画　□ 有　□ 無 ・敷地の管理に関する計画　□ 有　□ 無	□ 構造計算書 □	
		長期使用構造等対応措置	耐震性能に係る措置	□ 耐震等級（倒壊等防止）等級2 □ 耐震等級（倒壊等防止）等級1かつ応答層間変形角（安全限界変形角）1/100以下（限界耐力計算） □ 免震建築物 □ 耐震等級（倒壊等防止）等級1（保有水平耐力計算）、かつ、けた行及び張り間方向が以下のいずれかに該当 ・構造特性係数Ds=0.3（0.25）であって、応答層間変形角1/75以下 ・構造特性係数Ds＝0.55（0.5）　（）はSRC造の場合	□ 構造計算書 □	
	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	地盤・杭	地盤の種類・支持力等	・地盤の種類　（　　） □ 地盤の許容応力度（　　kN/㎡） □ 杭の許容支持力（　　kN/本） □ 杭状改良地盤の許容支持力度（　　kN/㎡） □ 杭状改良地盤の許容支持力（　　kN/本） ・地盤調査方法等　（　　） ・地盤改良方法　（　　）	□ 仕様書 □ 構造伏図 □ 調査書 □	
			地業	・種類　（　　）		
	基礎の構造方法及び形式等	基礎	基礎の形式	・基礎の形式　□ 直接基礎　□ 杭基礎	□ 仕様書 □ 構造伏図 □	
			直接基礎	・構造・形式　（　　）		
			杭基礎	・杭種　（　　） ・杭径　（　　cm） ・杭長　（　　m）		
火災時の安全に関すること	耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部））	開口部の耐火性能	防火設備の仕様等（耐火性能が最も低いもの）	・サッシの種別　（　　） ・ガラスの種別　（　　） ・認定番号等　（　　） ・耐火時間　□ 60分以上　□ 20分以上　□ その他	□ 配置図 □ 仕様書 □ 平面図 □	
	耐火等級（延焼のおそれのある部分（開	外壁・軒裏の構造	外壁の構造等（耐火性能が最も低いもの）	・構造・材料　（　　） ・認定番号等　（　　） ・耐火時間　□ 60分以上　□ 45分以上　□ 20分以上　□ その他	□ 配置図 □ 仕様書 □ 平面図 □ 矩形図	
			軒裏の構造等（耐火性能が最も低いもの）	・構造・材料　（　　） ・認定番号等　（　　） ・耐火時間　□ 60分以上　□ 45分以上　□ 20分以上　□ その他		

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書	設計内容確認欄
劣化の軽減に関すること	劣化対策等級（構造躯体等）	セメント	セメントの種類	□ ポルトランドセメント（JIS R 5210） □ 中庸熱　□ 低熱　□ その他 □ フライアッシュセメント（JIS R 5213） □ 高炉セメント	□ 仕様書 □	
		コンクリートの水セメント比	最小かぶり厚さ	・ 土に接しない部分 耐力壁以外の壁　屋内（　　mm）屋外（　　mm） 床　屋内（　　mm）屋外（　　mm） 耐力壁、はり、柱　屋内（　　mm）屋外（　　mm） ・ 土に接する部分 壁、柱、はり、床、基礎の立ち上がり部分　（　　mm） ・ 基礎（立ち上がり部分を除き、捨コンクリート部分、高強度プレストレストコンクリートぐいの部分および遠心力鉄筋コンクリートぐいの部分を除く）　（　　mm） ・ 外壁仕上げ　□ タイル貼　□ モルタル塗り □ 外断熱工法　□ その他	□ 仕様書 □	
			水セメント比	・ コンクリートの種類　□ 普通コンクリート　□ 軽量コンクリート ・ 水セメント比　（　　%）		
		部材の設計・配筋	設計かぶり厚さ	・ 施工誤差 （　　）	□ 仕様書 □	
		コンクリートの品質等	スランプ	（　　cm）	□ 仕様書 □	
			単位水量	（　　kg/m³）		
			空気量	（　　%） □ コンクリート中の含水率を高くしない措置その他の有効な措置		
		施工計画	コンクリートの充填方法等	・ 打ち込み・締め固め方法 （　　） ・ 打ち継ぎ部の処理方法 （　　） （　　） ・ 養生方法 （　　）	□ 仕様書 □	
		長期使用構造等対応措置	適合等級等	□ 3-1劣化対策等級（構造躯体等）の等級3に適合 □ 長期使用構造等基準で定める水セメント比に応じたかぶり厚さの確保 □ 外壁屋外面に耐久性上有効な仕上げを実施（かぶり厚-1cm） （　　）		
維持管理・更新への配慮に関すること	維持管理対策等級（共用配管）	共用配管	コンクリート内埋め込み配管	・ 排水管　□ 無　□ 有　・ 給水管　□ 無　□ 有 ・ 給湯管　□ 無　□ 有　・ ガス管　□ 無　□ 有	□ 仕様書 □	
		地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	・ 排水管　□ 無　□ 有　・ 給水管　□ 無　□ 有 ・ 給湯管　□ 無　□ 有　・ ガス管　□ 無　□ 有 □ 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	□ 仕様書 □	
		共用排水管	排水管の清掃措置、掃除口の点検措置	・ 共用立管 管の種類　掃除口の位置　点検措置 （　　）（　　）□ 露出　□ 開口 （　　）（　　）□ 露出　□ 開口 （　　）（　　）□ 露出　□ 開口 ・ 横主管 管の種類　掃除口の位置、間隔　点検措置 （　　）（　　）□ 露出　□ 開口 （　　）（　　）□ 露出　□ 開口 （　　）（　　）□ 露出　□ 開口 □ 掃除口（清掃の支障なし） ＊は、設備図に詳細を記載	□ 配置図 □ 平面図 □ 矩計図 □ 設備図 □	

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書 ※	設計内容確認欄
維持管理・更新への配慮に関すること（つづき）	維持管理対策等級（共用配管）（つづき）	配管点検口	排水管と専用配管の接合部	・接合部の位置（　　） 点検措置　☐ 露出　☐ 開口	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	
			給水管と専用配管の接合部及びバルブ	・接合部の位置（　　） 点検措置　☐ 露出　☐ 開口 ・バルブの位置（　　） 点検措置　☐ 露出　☐ 開口		
			給湯管と専用配管の接合部及びバルブ	・接合部の位置（　　） 点検措置　☐ 露出　☐ 開口 ・バルブの位置（　　） 点検措置　☐ 露出　☐ 開口		
			ガス管と専用配管の接合部及びバルブ	・接合部の位置（　　） 点検措置　☐ 露出　☐ 開口 ・バルブの位置（　　） 点検措置　☐ 露出　☐ 開口		
		排水管の性状等（継手及びヘッダーを含む）	排水管等の内面	☐ 平滑である　仕様等（　　） ☐ その他（　　）	☐ 仕様書 ☐	
			設置状態	☐ たわみ抜け等が生じないように設置措置（　　） ☐ その他（　　）		
		横主管のピット内等の措置	排水管	☐ 建物直下になし ☐ ピット内、床下、ピロティ等設置（☐ 人通孔設置　☐ その他）	☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 設備図 ☐	
			給水管	☐ 建物直下になし ☐ ピット内、床下、ピロティ等設置（☐ 人通孔設置　☐ その他）		
			給湯管	☐ 建物直下になし ☐ ピット内、床下、ピロティ等設置（☐ 人通孔設置　☐ その他）		
			ガス管	☐ 建物直下になし ☐ ピット内、床下、ピロティ等設置（☐ 人通孔設置　☐ その他）		
		配管補修の措置	排水管	☐ 露出（☐ 共用部　☐ 住棟外周部　☐ バルコニー） ☐ PS内（☐ 共用部に面して補修用開口有）	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	
			給水管	☐ 露出（☐ 共用部　☐ 住棟外周部　☐ バルコニー） ☐ PS内（☐ 共用部に面して補修用開口有）		
			給湯管	☐ 露出（☐ 共用部　☐ 住棟外周部　☐ バルコニー） ☐ PS内（☐ 共用部に面して補修用開口有）		
			ガス管	☐ 露出（☐ 共用部　☐ 住棟外周部　☐ バルコニー） ☐ PS内（☐ 共用部に面して補修用開口有）		
		長期使用構造等対応措置	適合等級等	☐ 4-2維持管理対策等級（共用配管）の等級3に適合 （共用配管のうち、ガス管に係る基準は除く。） ☐ 維持管理の円滑な実施のための措置を実施 （　　）	☐ 平面図 ☐	

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書 ※	設計内容確認欄
維持管理・更新への配慮に関すること（つづき）	更新対策（共用排水管）	共用排水管	コンクリート内埋め込み配管	・共用排水管　☐ 無　☐ 有	☐ 仕様書 ☐	
			地中埋設管上のコンクリート打設	・共用排水管　☐ 無　☐ 有 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	☐ 仕様書 ☐	
			横主管の設置位置等	・横主管の設置位置 ☐ ピット　☐ 1階床下空間　☐ ピロティ ☐ その他の共用部　（　　） ・配管に人が到達できる経路 ☐ 人通孔　☐ その他　（　　）	☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 設備図 ☐	
			共用排水管の設置位置等	・共用排水管の設置位置 ☐ 共用部分　☐ 住棟外周部　☐ バルコニー ☐ その他（　　） ・共用排水管の設置方法 ☐ 露出　☐ パイプスペース内	☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 設備図 ☐	
			コンクリート床等の貫通部	・共用排水管のコンクリート床等の貫通部　☐ 有　☐ 無 ☐ はつり工事等の軽減措置 ☐ 共用排水管の切断工事を軽減する措置、かつ、共用排水管がコンクリートの床等を貫通する部分に共用排水管の撤去の際のはつり工事を軽減する措置 ☐ 排水管の接続替えを容易に行うための措置 ☐ 共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間を確保 ☐ 増設更新対応措置 ☐ 共用排水管の近傍等に新たな共用排水管を設置できる空間、スリーブ等を設置 ☐ 排水管の接続替えを容易に行うための措置 ☐ 共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間を確保	☐ 仕様書 ☐ 矩計図 ☐ 設備図 ☐	
		共用排水立管の位置	共用排水立管の位置	☐ 共用廊下に面する共用部分 ☐ 外壁面・吹き抜け等の住戸外周部 ☐ バルコニー ☐ 住戸専用部（　　） ☐ その他（　　）	☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 設備図 ☐	
		長期使用構造等対応措置	適合等級等	☐ 4-3更新対策（共用排水管）の等級3に適合 ☐ 維持管理の円滑な実施のための措置を実施 （　　）	☐ 平面図 ☐	

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

その2. 住戸評価用　　※の欄を設計者が記入のこと

住戸番号	
評価対象建築物の名称	
評価対象建築物の所在地	
設計者等の氏名	
評価者氏名	

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	※ 記載図書	設計内容確認欄
火災時の安全に関すること	感知警報装置設置等級（自住戸火災時）	感知警報装置	感知部分の設置場所等	・種　類 ☐ 自動火災報知設備 ☐ 住宅用防災報知設備（住宅用自動火災報知設備） ☐ 住宅用防災警報器（住宅用火災警報器） ☐ その他（　　） ・設置場所　　種別　　検定番号 ☐ すべての居室（　　）（　　） ☐ すべての寝室（　　）（　　） ☐ すべての階段（　　）（　　） ☐ 寝室のある階から直下に通じる階段 （　　）（　　） ☐ すべての台所等（　　） ☐ その他（　　） （　　）（　　）	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐	
			警報部分の性能等	・設置箇所　（　　） ・検定番号等　（　　）		
	感知警報装置設置等級（他住戸火災時）	感知警報装置	感知警報装置の種類等	感知器 ・種　類　☐ 共同住宅用自火報又は同等品 ☐ 住戸用自火報又は同等品　☐ その他 ・設置場所　☐ 当該階　☐ 直下の階 ・接続等　☐ 各戸に有効に接続　☐ 戸外表示器有り　☐ その他 警報機 ・種　類　☐ 非常警報設備又は同等品　☐ その他 ・設置場所　☐ 当該階　☐ 直下の階　☐ その他（　　） ・接続等　☐ 各々が有効に接続	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	
	避難安全対策（他住戸等火災時・共用廊下）	排煙形式	排煙形式	☐ 開放型廊下　☐ 機械排煙（加圧式） ☐ 自然排煙　☐ その他 ☐ 機械排煙（一般）	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐	
		平面形状	平面形状	☐ 通常の歩行経路による2以上の方向への避難が可能 ☐ 直通階段との間に他住戸等がない ☐ その他	☐ 平面図 ☐	
		耐火等級（避難経路の隔壁の開口部）	防火設備の仕様等（耐火性能が最も低いもの）	・構　造　（　　） ・認定番号等　（　　） ・耐火時間　☐ 60分以上　☐ 20分以上　☐ その他	☐ 平面図 ☐	
	脱出対策（火災時）	脱出対策	避難器具の種類	☐ 直通階段に直接通ずるバルコニー ☐ 隣戸に通ずるバルコニー ☐ 避難器具 ☐ 滑り棒　☐ 滑り台　☐ 緩降機　☐ 避難用タラップ ☐ 避難ロープ　☐ 避難はしご　☐ 避難橋　☐ 救助袋 ☐ その他	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐	

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書 ※	設計内容確認欄
火災時の安全	耐火等級（界壁及び界床）	界壁	界壁の構造等（耐火性能が最も低いもの）	・構造・材料　（　　） ・認定番号等　（　　） ・耐火時間　☐ 60分以上　☐ 45分以上　☐ 20分以上　☐ その他	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐	
		界床	界床の構造等（耐火性能が最も低いもの）	・構造・材料　（　　） ・認定番号等　（　　） ・耐火時間　☐ 60分以上　☐ 45分以上　☐ 20分以上　☐ その他	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 矩形図	
維持管理・更新への配慮に関すること	維持管理対策等級（専用配管）	専用配管	コンクリート内埋め込み配管	・排水管　☐ 無　☐ 有　・給湯管　☐ 無　☐ 有 ・給水管　☐ 無　☐ 有　・ガス管　☐ 無　☐ 有	☐ 仕様書 ☐	
			他住戸専用部への設置	・排水管　☐ 無　☐ 有　・給湯管　☐ 無　☐ 有 ・給水管　☐ 無　☐ 有　・ガス管　☐ 無　☐ 有		
		地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	・排水管　☐ 無　☐ 有　・給湯管　☐ 無　☐ 有 ・給水管　☐ 無　☐ 有　・ガス管　☐ 無　☐ 有 ☐ 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	☐ 仕様書 ☐	
		専用排水管の性状等（継手及びヘッダーを含む）	排水管等の内面	☐ 平滑である　仕様等（　　） ☐ その他（　　）	☐ 仕様書 ☐	
			設置状態	☐ たわみ抜け等が生じないように設置措置　（　　） ☐ その他（　　）		
		専用排水管	排水管等の清掃措置	・便所　（　　） ☐ 共用立管に隣接　☐ 掃除口　（☐ 露出又は開口有） ・その他の水廻り ☐ トラップ　☐ 掃除口　（☐ 露出又は開口有）	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	
		配管点検口	主要接合部等の点検措置	・排水管と設備機器の接合部 ☐ 露出　☐ 開口有　☐ その他（　　）	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	
				・給水管と設備機器の接合部 ☐ 露出　☐ 開口有　☐ その他（　　）		
				・給湯管と設備機器の接合部 ☐ 露出　☐ 開口有　☐ その他（　　）		
				・給水管のバルブ及びヘッダー ☐ 露出　☐ 開口有　☐ その他（　　）		
				・給湯管のバルブ及びヘッダー ☐ 露出　☐ 開口有　☐ その他（　　）		
				・ガス管のバルブ及びヘッダー ☐ 露出　☐ 開口有　☐ その他（　　）		
		長期使用構造等対応措置	適合等級	☐ 4-1維持管理対策等級（専用配管）の等級3に適合 （専用配管のうち、ガス管に係る基準は除く。）	☐ 平面図 ☐	
	更新対策（住戸専用部）	構造躯体	躯体天井高	・躯体天井高 （　　mm以上） ☐ 異なる躯体天井高が存する 最も低い部分の躯体天井高 （　　mm以上） 最も低い部分 ☐ はり　☐ 傾斜屋根　☐ その他（　　）	☐ 矩計図 ☐	
			住戸専用部の構造躯体の壁又は柱	・住戸専用部の構造躯体で間取変更の障害となりうるもの ☐ 有　（☐ 壁　☐ 柱） ☐ 無	☐ 平面図 ☐	
		長期使用構造等対応措置	適合等級	☐ 4-4(3)イ①及び②に定められた躯体天井高が 2650mm以上	☐ 矩計図 ☐	

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書※	設計内容確認欄
温熱環境・エネルギー消費量に関すること	断熱等性能等級	地域の区分	地域の区分	地域の区分　（　　）地域		
		適用する基準	適用する基準	□ 非住宅・住宅計算法　（ □ 住戸計算　□ 住棟計算 ） □ 住宅仕様基準※1（等級4）　□ 誘導仕様基準（等級5）		
		非住宅・住宅計算方法	外皮平均熱貫流率	□ 外皮平均熱貫流率（U_A値）の基準に適合	□ 平面図 □ 立面図 □ 矩計図 □ 建具表 □ 計算書 □	
			冷房期の平均日射熱取得率	□ 冷房期の平均日射熱取得率（η_{AC}値）の基準に適合		
		住宅仕様基準・誘導仕様基準	外皮の熱貫流率の基準または、断熱材の熱抵抗の基準	屋根　（　　）　部位の熱貫流率（　　W/㎡・K） 部位の熱抵抗（　　㎡・K/W） 天井　（　　）　部位の熱貫流率（　　W/㎡・K） 部位の熱抵抗（　　㎡・K/W） 壁　（　　）　部位の熱貫流率（　　W/㎡・K） 部位の熱抵抗（　　㎡・K/W） 床　外気に接する部分　部位の熱貫流率（　　W/㎡・K） （　　）　部位の熱抵抗（　　㎡・K/W） その他の部分　部位の熱貫流率（　　W/㎡・K） （　　）　部位の熱抵抗（　　㎡・K/W） 土間床等の外周部　外気に接する部分　部位の熱貫流率（　　W/㎡・K） （　　）　部位の熱抵抗（　　㎡・K/W） その他の部分　部位の熱貫流率（　　W/㎡・K） （　　）　部位の熱抵抗（　　㎡・K/W）		
			開口部の断熱性能等	□ 開口部の断熱性能等に関する基準に適合 □ 緩和措置有り □ 窓の断熱（2%緩和）　□ 窓の日射（4%緩和）		
		結露防止対策	結露の発生防止対策	□ 防湿層の設置（繊維系断熱材等を使用する場合） □ 設置　（　　） □ 省略　（　　） □ 通気層の設置（断熱構造とする場合） □ 屋根　□ 有（　　）□ 省略（　　） ・ 防風層の設置（　　） □ 外壁　□ 有（　　）□ 省略（　　） ・ 防風層の設置（　　） □ 内断熱工法 □ 断熱材をコンクリート躯体に全面密着等	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 矩計図 □	
		熱橋部対策	熱橋部の断熱補強対策	・ 構造熱橋部の断熱補強措置 断熱材の熱抵抗又は断熱材の種類と厚さ （　　） 補強範囲　（　　mm）	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 矩計図 □	
		長期使用構造等対応措置	外皮性能に係る適合等級	□ 非住宅・住宅計算法による等級が等級5 □ 誘導仕様基準（等級5）	□ 仕上表 □ 平面図 □ 計算書	

※1　長期使用構造等の併願申請を行わない場合は住宅仕様基準を用いることができます。

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書 ※	設計内容確認欄
温熱環境・エネルギー消費量に関すること（つづき）	**一次エネルギー消費量等級**	適用する基準		□ 非住宅・住宅計算方法 住棟評価の場合は以下のいずれかを選択 □ 住棟評価（単位住戸の合計） □ 住棟評価（単位住戸の合計＋共用部） □ 住宅仕様基準（等級4）　□ 誘導仕様基準（等級6）	□ 仕上表 □ 計算書 □ 面積表 □ 平面図 □ 機器表 □ 系統図 □	
		非住宅・住宅計算方法	居室の面積	・ 合計の床面積 ・ 主たる居室 ・ その他の居室 □ 一次エネルギー消費量計算結果表による		
			一次エネルギー消費量	・ 基準一次エネルギー消費量 ・ 設計一次エネルギー消費量 □ 一次エネルギー消費量計算結果表による		
			設備機器等の使用	□ 一次エネルギー消費量計算結果表による		
		住宅仕様基準	暖房設備	・ 暖房方式　（　　） ・ 暖房機器の仕様等 （　　）		
			冷房設備	・ 冷房方式　（　　） ・ 冷房機器の仕様等 （　　）		
			換気設備	・ 換気機器の仕様等 （　　）		
			照明設備	□ 非居室に白熱灯または同等以下の性能の照明を採用していない		
			給湯設備	□ 給湯熱源機の種類等　（　　）		
		誘導仕様基準	暖房設備	・ 暖房方式　（　　） ・ 暖房機器の仕様等 （　　）		
			冷房設備	・ 冷房方式　（　　） ・ 冷房機器の仕様等 （　　）		
			換気設備	・ 熱交換換気設備の有無　□ 有　□ 無 ・ 換気機器の仕様等 （　　）		
			照明設備	□ 全ての照明設備がLED又は同等以上		
			給湯設備	□ 給湯熱源機の種類等　（　　） ・ 所定の省エネ対策の実施 □ ヘッダー方式　分岐後配管径13A以下 □ 浴室シャワーの節湯水栓の使用 □ 高断熱浴槽の採用		
		長期使用構造等対応措置	一次エネルギー消費量に係る適合等級	□ 基準省令及び非住宅・住宅計算方法による等級が等級6 □ 誘導仕様基準（等級6）	□ 平面図 □ 機器表 □ 計算書	

※1　長期使用構造等の併願申請を行わない場合は住宅仕様基準を用いることができます。

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書 ※	設計内容確認欄
空気環境に関すること	ホルムアルデヒド対策（内装及び天井裏等）	居室の内装の仕上げ材	使用する建材	□ 製材等 （ □ 製材 □ 丸太 □ 単層フローリング ） □ 特定建材 □ その他	□ 仕様書 □ 仕上表 □	
			ホルムアルデヒド発散等級（特定建材）	・ 特定建材のうち最もホルムアルデヒド発散量が大きい建材の等級 □ F☆☆☆☆相当（規制対象外の建材） □ F☆☆☆相当（第3種ホルムアルデヒド発散建築材料） □ F☆☆相当（第2種ホルムアルデヒド発散建築材料） 特定建材の種類 使用箇所 （ ）（ ） （ ）（ ） （ ）（ ） （ ）（ ）		
		天井裏等の下地材等	措置方法	□ 使用建材による □ 換気又は気密措置による	□ 仕様書 □ 仕上表 □	
			使用する建材	□ 製材等 （ □ 製材 □ 丸太 □ 単層フローリング ） □ 特定建材 □ その他		
			ホルムアルデヒド発散等級（特定建材）	・ 特定建材のうち最もホルムアルデヒド発散量が大きい建材の等級 □ F☆☆☆☆相当（規制対象外の建材） □ F☆☆☆相当（第3種ホルムアルデヒド発散建築材料） 特定建材の種類 使用箇所 （ ）（ ） （ ）（ ） （ ）（ ）		
	換気対策	居室の換気対策	種類	□ 機械換気設備 □ その他（ ）	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 平面図 □	
			機械換気対策	・ 一体とみなす居室の範囲 換気方式 □ 第1種換気（給気機＋排気機） □ 第2種換気（給気機＋排気口） □ 第3種換気（給気口＋排気機） 気積（ ㎥） 換気量（ ㎥/h） 換気回数（ 回） 建具の通気措置 □ 有 □ 無		
				・ 一体とみなす居室の範囲 （ ） 換気方式 □ 第1種換気（給気機＋排気機） □ 第2種換気（給気機＋排気口） □ 第3種換気（給気口＋排気機） 気積（ ㎥） 換気量（ ㎥/h） 換気回数（ 回） 建具の通気措置 □ 有 □ 無		
				・ 一体とみなす居室の範囲 （ ） 換気方式 □ 第1種換気（給気機＋排気機） □ 第2種換気（給気機＋排気口） □ 第3種換気（給気口＋排気機） 気積（ ㎥） 換気量（ ㎥/h） 換気回数（ 回） 建具の通気措置 □ 有 □ 無		
		局所換気対策	便所	□ 機械換気設備 □ 換気のできる窓 □ 無	□ 仕様書 □ 平面図 □	
			浴室	□ 機械換気設備 □ 換気のできる窓 □ 無		
			台所	□ 機械換気設備 □ 換気のできる窓 □ 無		

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書 ※	設計内容確認欄
光・視環境に関すること	単純開口率	開口部(単純開口率)	居室の面積に対する開口部の割合	・居室の床面積の合計 (㎡) ・居室の開口部の面積の合計 (㎡) ・単純開口率 (%以上)	□ 計算書 □ 平面図 □	
	方位別開口比	開口部(方位別開口比)	方位別開口部の面積合計の比	方位別開口部面積の合計 方位別開口比 北 (㎡) (% 以上) 東 (㎡) (% 以上) 南 (㎡) (%) 西 (㎡) (% 以上) 真上 (㎡) (%)	□ 計算書 □ 平面図 □ 平面詳細図	
音環境に関すること	重量床衝撃音対策 □ 重量床衝撃音対策等級 □ 相当スラブ厚	上階界床	床構造等	・スラブの種類・厚さ □ 均質単板スラブ等 (mm) □ ボイドスラブ (mm 等価厚さ mm) ・端部拘束条件 最高(辺以上) 最低(辺以上) ・受音室名・面積 最高(㎡) 最低(㎡)	□ 計算書 □ 仕様書 □ 平面図 □	
			床仕上げ構造等	・床仕上げ構造(最高) □ ロ②d(ⅰ)or(ⅱ) 乾式二重床下地構造 □ ロ②e(ⅰ) 直接床構造 □ ロ②e(ⅱ)～(ⅵ) 乾式二重床下地構造 □ ロ②e(ⅶ) 発泡プラスチック系下地構造 □ その他( ) ・床仕上げ材(最高) □ 織じゅうたん(JIS L4404) □ 左記と同等(根拠) □ ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ(JIS L4405) □ 左記と同等(根拠) □ 畳(JIS A5902) □ 左記と同等(根拠) □ 建材畳(JIS A5914) □ 左記と同等(根拠) □ ﾋﾞﾆﾙ系床材(JIS A5705) □ 左記と同等(根拠) □ JIS A1440-2の6.2のｶﾃｺﾞﾘｰⅠのもの ( ) □ 木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ材 (厚 mm) □ その他 ( ) ・床仕上げ構造(最低) □ ロ②d(ⅰ)or(ⅱ) 乾式二重床下地構造 □ ロ②e(ⅰ) 直接床構造 □ ロ②e(ⅱ)～(ⅵ) 乾式二重床下地構造 □ ロ②e(ⅶ) 発泡プラスチック系下地構造 □ その他( ) ・床仕上げ材(最低) □ 織じゅうたん(JIS L4404) □ 左記と同等(根拠) □ ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ(JIS L4405) □ 左記と同等(根拠) □ 畳(JIS A5902) □ 左記と同等(根拠) □ 建材畳(JIS A5914) □ 左記と同等(根拠) □ ﾋﾞﾆﾙ系床材(JIS A5705) □ 左記と同等(根拠) □ JIS A1440-2の6.2のｶﾃｺﾞﾘｰⅠのもの ( ) □ 木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ材 (厚 15 mm) □ その他 ( )		
		下階界床	床構造等	・スラブの種類・厚さ □ 均質単板スラブ等 (mm) □ ボイドスラブ (mm 等価厚さ mm) ・端部拘束条件 最高(辺以上) 最低(辺以上) ・受音室名・面積 最高(㎡) 最低(㎡)		

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書 ※	設計内容確認欄
音環境に関すること（つづき）	重量床衝撃音対策（つづき）	下階界床（つづき）	床仕上げ構造等	・ 床仕上げ構造（最高） □ ロ②d(ｉ)or(ⅱ) 乾式二重床下地構造 □ ロ②e(ｉ) 直接床構造 □ ロ②e(ⅱ)～(ⅵ) 乾式二重床下地構造 □ ロ②e(ⅶ) 発泡プラスチック系下地構造 □ その他（ ）		
				・ 床仕上げ材（最高） □ 織じゅうたん（JIS L4404） □ 左記と同等（根拠 ） □ ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ（JIS L4405） □ 左記と同等（根拠 ） □ 畳（JIS A5902） □ 左記と同等（根拠 ） □ 建材畳（JIS A5914） □ 左記と同等（根拠 ） □ ﾋﾞﾆﾙ系床材（JIS A5705） □ 左記と同等（根拠 ） □ JIS A1440-2の6.2のｶﾃｺﾞﾘｰⅠのもの （ ） □ 木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ材（厚 mm） □ その他 （ ）		
				・ 床仕上げ構造（最低） □ ロ②d(ｉ)or(ⅱ) 乾式二重床下地構造 □ ロ②e(ｉ) 直接床構造 □ ロ②e(ⅱ)～(ⅵ) 乾式二重床下地構造 □ ロ②e(ⅶ) 発泡プラスチック系下地構造 □ その他（ ）		
				・ 床仕上げ材（最低） □ 織じゅうたん（JIS L4404） □ 左記と同等（根拠 ） □ ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ（JIS L4405） □ 左記と同等（根拠 ） □ 畳（JIS A5902） □ 左記と同等（根拠 ） □ 建材畳（JIS A5914） □ 左記と同等（根拠 ） □ ﾋﾞﾆﾙ系床材（JIS A5705） □ 左記と同等（根拠 ） □ JIS A1440-2の6.2のｶﾃｺﾞﾘｰⅠのもの （ ） □ 木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ材（厚 mm） □ その他 （ ）		
	軽量床衝撃音対策 □ 軽量床衝音対策等級 □ 軽量床衝撃音レベル低減量（床仕上げ構造）	上階界床	床構造区分等	・ スラブの種類・厚さ □ 均質単板スラブ等 （ mm ） □ ボイドスラブ （ mm 等価厚さ mm）	□ 仕様書 □ 平面図 □	
				・ 床構造区分（最高） □ 床構造区分1 □ 床構造区分2 □ 床構造区分3 □ その他		
				・ 床構造区分（最低） □ 床構造区分1 □ 床構造区分2 □ 床構造区分3 □ その他		
				・ 受音室名 最高（ ） 最低（ ）		
			床仕上げ構造区分等	・ 床仕上げ構造区分（最高） □ 仕上げ区分1 □ 仕上げ区分2 □ 仕上げ区分3 □ 仕上げ区分4 □ 仕上げ区分5 □ その他 根拠（ ） □ 直接床構造の上に施工		
				・ 床仕上げ構造区分（最低） □ 仕上げ区分1 □ 仕上げ区分2 □ 仕上げ区分3 □ 仕上げ区分4 □ 仕上げ区分5 □ その他 根拠（ ） □ 直接床構造の上に施工		

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書 ※	設計内容確認欄
音環境に関すること（つづき）	軽量床衝撃音対策（つづき）	下階界床	床構造区分等	・ スラブの種類・厚さ ☐ 均質単板スラブ等 （ mm ） ☐ ボイドスラブ （ mm 等価厚さ mm）	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐	
				・ 床構造区分（最高） ☐ 床構造区分1 ☐ 床構造区分2 ☐ 床構造区分3 ☐ その他		
				・ 床構造区分（最低） ☐ 床構造区分1 ☐ 床構造区分2 ☐ 床構造区分3 ☐ その他		
				・ 受音室名 最高（ ） 最低（ ）		
			床仕上げ構造区分等	・ 床仕上げ構造区分（最高） ☐ 仕上げ区分1 ☐ 仕上げ区分2 ☐ 仕上げ区分3 ☐ 仕上げ区分4 ☐ 仕上げ区分5 ☐ その他 根拠（ ） ☐ 直接床構造の上に施工		
				・ 床仕上げ構造区分（最低） ☐ 仕上げ区分1 ☐ 仕上げ区分2 ☐ 仕上げ区分3 ☐ 仕上げ区分4 ☐ 仕上げ区分5 ☐ その他 根拠（ ） ☐ 直接床構造の上に施工		
	透過損失等級（界壁）	界壁の遮音性能	界壁の構造・仕様（最も性能の低いもの）	☐ RC造 ☐ SRC造 ☐ SC造 ☐ 普通コンクリート 厚さ （ mm） ☐ 軽量コンクリート 厚さ （ mm） 面密度 （ 相当） ☐ 無筋コンクリート 厚さ （ mm） 面密度 （ 相当） ☐ コンクリートブロック造 ☐ れんが造 ☐ 石造 厚さ （ mm） 面密度 （ 相当） ☐ 両面モルタル塗り 厚さ （ mm） ☐ 両面プラスター塗り 厚さ （ mm）	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐	
			付帯条件	・ コンセントボックスの位置等 ☐ 対面する位置に欠き込み設置なし ・ 界壁の仕上げ材（ボード類） ☐ 界壁とボード類の間に接着モルタル等の点付けによる空隙なし		
	透過損失等級（外壁開口部）	開口部の遮音等級	北の方位のサッシ・ドアセット（遮音性能が最も低いもの）	☐ JIS遮音等級表示品 ☐ 同等品 ☐ T－4 ☐ T－3 ☐ T－2 ☐ T－1 ☐ その他試験を行うもの（平均透過損失 dB以上） 試験機関（ ）試験番号（ ）	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐	
			東の方位のサッシ・ドアセット（遮音性能が最も低いもの）	☐ JIS遮音等級表示品 ☐ 同等品 ☐ T－4 ☐ T－3 ☐ T－2 ☐ T－1 ☐ その他試験を行うもの（平均透過損失 dB以上） 試験機関（ ）試験番号（ ）		
			南の方位のサッシ・ドアセット（遮音性能が最も低いもの）	☐ JIS遮音等級表示品 ☐ 同等品 ☐ T－4 ☐ T－3 ☐ T－2 ☐ T－1 ☐ その他試験を行うもの（平均透過損失 dB以上） 試験機関（ ）試験番号（ ）		
			西の方位のサッシ・ドアセット（遮音性能が最も低いもの）	☐ JIS遮音等級表示品 ☐ 同等品 ☐ T－4 ☐ T－3 ☐ T－2 ☐ T－1 ☐ その他試験を行うもの（平均透過損失 dB以上） 試験機関（ ）試験番号（ ）		

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書 ※	設計内容確認欄
高齢者等への配慮に関すること	高齢者等配慮対策等級（専用部分）	部屋の配置等	特定寝室と同一階にある室	・特定寝室　（室名：　　）	□ 平面図	
				・特定寝室と同一階にある室 □ 玄関　□ 便所　□ 浴室　□ 食事室　□ 脱衣室　□ 洗面所	□	
				・ホームエレベーター　□ 無　□ 有 ・ホームエレベーター出入口の幅員（　　mm）		
		段差	出入口等（日常生活空間内）	・玄関出入口 くつずりと玄関外側（　　mm）　くつずりと玄関土間（　　mm） ・玄関上がりかまち（　　mm）・浴室出入口（　　mm） ・バルコニー出入口（　　mm） ・居室の部分の床とその他の床の段差 （　　mm） ・その他の床の段差（　　mm）	□ 平面図 □ 矩計図 □	
			その他（日常生活空間外）	・室名（　　）・段差（　　mm）		
		階段	勾配等	・けあげ（　　mm）・踏面（　　mm） ・勾配（　　／　　）	□ 平面図 □	
			蹴込み	・蹴込み寸法（　　mm）・蹴込み板　□ 無　□ 有		
			形式等	・階段の形式（　　） ・最上段の通路等への食い込み　□ 無　□ 有 ・最下段の通路等への突出　□ 無　□ 有		
			滑り防止	・滑り止め　□ 無　□ 有、踏面と同一面		
			段鼻	・段鼻の出　□ 無　□ 有		
		手すり	手すりの設置	・階段　□ 両側設置　□ 片側設置 手すり高さ（　　mm）	□ 仕上表 □ 平面図 □ 矩計図 □	
				・便所　□ 設置		
				・浴室　□ 浴室出入り　□ 浴槽出入り　□ 浴槽立ち座り □ 姿勢保持　□ 洗い場立ち座り		
				・玄関　□ 設置　□ 設置可		
				・脱衣室　□ 設置　□ 設置可		
			転落防止手すりの設置	・バルコニー　腰壁等の高さ（　　mm） 手すり高さ（□ 腰壁等より □ 床面より　　mm）		
				・窓（2階以上）腰壁等の高さ（　　mm） 手すり高さ（□ 腰壁等より □ 床面より　　mm）		
				・廊下及び階段（開放されている側）　腰壁等の高さ（　　mm） 手すり高さ（□ 腰壁等より □ 床面・踏面の先端より　　mm）		
				・手すり子の内法寸法　□ 110mm以下　□ 110mm超え		
		通路及び出入口の幅員（日常生活空間）	通路の幅員	・最小有効幅員（　　mm）柱等の箇所（　　mm）	□ 平面図 □	
			出入口の幅員	・玄関（　　mm）浴室出入口（　　mm）		
				・玄関・浴室出入口以外の室の出入口の最小幅員（　　mm） □ 工事を伴わない撤去により対応可　□ 軽微な改造により対応可		
		寝室、便所及び浴室（日常生活空間）	浴室の寸法	・内法の短辺寸法（　　mm）内法面積（　　㎡）	□ 平面図 □	
			便所の寸法等	・内法の短辺寸法（　　mm） □ 工事を伴わない撤去により対応可　□ 軽微な改造により対応可 □ ドア開放により対応可		
				・内法の長辺寸法（　　mm） □ 工事を伴わない撤去により対応可　□ 軽微な改造により対応可 □ ドア開放により対応可		
				・便器の形式　□ 腰掛け式　□ その他		
			特定寝室の面積	・内法面積（　　㎡）		

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書 ※	設計内容確認欄
高齢者等への配慮に関すること	高齢者等配慮対策等級（共用部分）	共用廊下	手すり	□ 両側設置　□ 片側設置　□ 無 床面からの高さ（　mm）	□ 仕様書 □ 平面図 □ 矩計図 □	
			外部開放廊下の転落防止手すり	・腰壁等の高さ（　mm） ・手すり高さ（□ 腰壁等より □ 床面より　mm） ・手すり子の内法寸法　□ 110mm以下　□ 110mm超え		
			床の段差等	□ 段差なし		
				・高低差　□ 無　□ 有（　mm） ・高低差が生じる場合の構造 □ 傾斜路（勾配1/12以下）と段の併設 □ 傾斜路（勾配1/15以下）の設置 □ 傾斜路（勾配1/8以下）の設置		
				・傾斜路の構造 手すり　□ 両側設置　□ 片側設置　□ 無 手すりの床面からの高さ（　mm）有効幅員（　mm）		
				・段の構造 有効幅員（　mm） 勾配（　／　） けあげ（　mm）・踏面（　mm） 段の蹴込み寸法（　mm）・蹴込み板　□ 無　□ 有 最上段の通路等への食い込み　□ 無　□ 有 最下段の通路等への突出　□ 無　□ 有 滑り止め　□ 無　□ 有、踏面と同一面 段鼻の出　□ 無　□ 有 手すり　□ 両側設置　□ 片側設置　□ 無 手すりの踏面の先端からの高さ（　mm）		
			共用廊下の幅員	・有効幅員（　mm）		
		共用階段	勾配等	・けあげ（　mm）・踏面（　mm） ・勾配（　／　）	□ 平面図 □ 階段詳細図	
			蹴込み	・蹴込み寸法（　mm）・蹴込み板　□ 無　□ 有		
			形式等	・階段の形式　□ 踊り場付き折れ階段　□ 直階段　□ その他 ・最上段の通路等への食い込み　□ 無　□ 有 ・最下段の通路等への突出　□ 無　□ 有		
			滑り防止	・滑り止め　□ 無　□ 有、踏面と同一面		
			段鼻	・段鼻の出　□ 無　□ 有		
			手すり	□ 両側設置　□ 片側設置　□ 無 ・踏面の先端からの高さ（　mm）		
			外部開放階段の転落防止手すり	・腰壁等の高さ（　mm） 手すり高さ（□ 腰壁等より □ 踏面の先端より　mm） ・手すり子の内法寸法　□ 110mm以下　□ 110mm超え		
			エレベーターを利用できない場合	・有効幅員（　mm）		

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目		設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書 ※	設計内容確認欄
高齢者等への配慮に関すること（つづき）	高齢者等配慮対策等級（共用部分）（つづき）	エレベーター		設置等	・住戸位置 □ 建物出入口の存する階 □ 左記以外 ・エレベーター設置 □ 有 □ 無 mm）	□ 仕様書 □ 平面図 □	
				寸法等	・出入口の有効幅員 （ mm） ・かごの奥行き寸法 （ mm）		
				ホールの広さ	・エレベーターホールの寸法 （ mm× mm）		
				建物出入口からの経路の床	□ 段差なし		
				建物出入口とエレベーターホール	・高低差 □ 無 □ 有（ mm）		
					・高低差が生じる場合の構造 □ 傾斜路（勾配1/12以下）と段の併設 □ 傾斜路（勾配1/15以下）の設置 □ 傾斜路（勾配1/8以下）の設置		
					・傾斜路の構造 手すり □ 両側設置 □ 片側設置 □ 無 手すりの床面からの高さ（ mm） 有効幅員（ mm）		
					・段の構造 有効幅員（ mm） 勾配（ ／ ） けあげ（ mm） ・踏面（ mm） 段の蹴込み寸法（ mm） ・蹴込み板 □ 無 □ 有 最上段の通路等への食い込み □ 無 □ 有 最下段の通路等への突出 □ 無 □ 有 滑り止め □ 無 □ 有、踏面と同一面 段鼻の出 □ 無 □ 有 手すり □ 両側設置 □ 片側設置 □ 無 手すりの踏面の先端からの高さ（ mm）		
		長期使用構造等対応措置		適合等級	□ 9-2高齢者等配慮対策等級（共用部分）の等級3に適合 （ハ①a及びb、ハ①cのうちイ①c及びdに係る部分、ハ②a(ⅲ)のうちロ②a(ⅳ)に係る部分、ハ②bのうちイ②bに係る部分並びにハ③b及びcを除く。）	□ 平面図 □	
防犯に関すること	開口部の侵入防止対策［各］階＊	住戸の出入口 区分a □ その他 □ 該当なし		戸及び錠による対策	・対象箇所 （ ）	□ 仕様書 □ 平面図 □ 立面図 □	
					・戸の性能 □ CP品 □ その他（ ）		
					・侵入可能なｶﾞﾗｽ □ 無 □ 有（ ） ｶﾞﾗｽの性能 □ ｶﾞﾗｽCP品 □ ｳｨﾝﾄﾞｳﾌｨﾙﾑCP品 □ その他		
					・錠の性能 □ 2以上装着 1以上の錠 □ CP品かつデッドボルド鎌式 □ その他 1以上の錠のサムターン □ サムターン操作対応品 □ その他		
				雨戸等による対策	・対象箇所 （ ）		
					・種類 □ 雨戸 □ シャッター □ その他（ ）		
					・性能 □ CP品 □ その他（ ）		
		外部からの接近が比較的容易な開口部 区分b(ⅰ)共用廊下・共用階段 □ その他 □ 該当なし	開閉機構あり	サッシ及びガラスによる対策	・対象箇所 （ ）	□ 仕様書 □ 平面図 □ 立面図 □	
					・サッシの性能 □ CP品 □ その他（ ） クレセント等 □ 2以上装着		
					・ｶﾞﾗｽの性能 □ ｶﾞﾗｽCP品 □ ｳｨﾝﾄﾞｳﾌｨﾙﾑCP品 □ その他		
				戸及び錠による対策	・対象箇所 （ ）		
					・戸の性能 □ CP品 □ その他（ ）		
					・侵入可能なガラス □ 無 □ 有（ ） ｶﾞﾗｽの性能 □ ｶﾞﾗｽCP品 □ ｳｨﾝﾄﾞｳﾌｨﾙﾑCP品 □ その他		
					・錠の性能 □ 2以上装着 1以上の錠 □ CP品かつデッドボルド鎌式 □ その他 1以上の錠のサムターン □ サムターン操作対応品 □ その他		
				雨戸等による対策	・対象箇所 （ ）		
					・種類 □ 雨戸 □ シャッター □ 面格子 □ その他（ ）		
					・性能 □ CP品 □ その他（ ）		

設計内容説明書【鉄筋コンクリート造等の共同住宅用・長期使用構造等確認あり】

※の欄を設計者が記入のこと

	性能表示事項	確認項目		設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書 ※	設計内容確認欄
防犯に関すること（つづき）	開口部の侵入防止対策［各］階＊（つづき）	区分b(ⅰ)共用廊下・共用階段（つづき）	開閉機構なし	ガラスによる対策	・対象箇所（　　） ・ｶﾞﾗｽの性能　☐ ｶﾞﾗｽCP品　☐ ｳｨﾝﾄﾞｳﾌｨﾙﾑCP品　☐ その他		
				雨戸等による対策	・対象箇所（　　） ・種類　☐ 雨戸　☐ シャッター　☐ 面格子　☐ その他（　　） ・性能　☐ CP品　☐ その他（　　）		
		外部からの接近が比較的容易な開口部 区分b(ⅱ)バルコニー等 ☐ その他 ☐ 該当なし	開閉機構あり	サッシ及びガラスによる対策	・対象箇所（　　） ・サッシの性能　☐ CP品　☐ その他（　　） クレセント等　☐ 2以上装着 ・ｶﾞﾗｽの性能　☐ ｶﾞﾗｽCP品　☐ ｳｨﾝﾄﾞｳﾌｨﾙﾑCP品　☐ その他	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐	
				戸及び錠による対策	・対象箇所（　　） ・戸の性能　☐ CP品　☐ その他（　　） ・侵入可能なガラス　☐ 無　☐ 有（　　） ｶﾞﾗｽの性能　☐ ｶﾞﾗｽCP品　☐ ｳｨﾝﾄﾞｳﾌｨﾙﾑCP品　☐ その他 ・錠の性能　☐ 2以上装着 1以上の錠　☐ CP品かつデッドボルド鎌式　☐ その他 1以上の錠のサムターン　☐ サムターン操作対応品　☐ その他		
				雨戸等による対策	・対象箇所（　　） ・種類　☐ 雨戸　☐ シャッター　☐ 面格子　☐ その他（　　） ・性能　☐ CP品　☐ その他（　　）		
			開閉機構なし	ガラスによる対策	・対象箇所（　　） ・ｶﾞﾗｽの性能　☐ ｶﾞﾗｽCP品　☐ ｳｨﾝﾄﾞｳﾌｨﾙﾑCP品　☐ その他		
				雨戸等による対策	・対象箇所（　　） ・種類　☐ 雨戸　☐ シャッター　☐ 面格子　☐ その他（　　） ・性能　☐ CP品　☐ その他（　　）		
		その他の開口部 区分c ☐ その他 ☐ 該当なし	開閉機構あり	サッシ及びガラスによる対策	・対象箇所（　　） ・サッシの性能　☐ CP品　☐ その他（　　） クレセント等　☐ 2以上装着 ・ｶﾞﾗｽの性能　☐ ｶﾞﾗｽCP品　☐ ｳｨﾝﾄﾞｳﾌｨﾙﾑCP品　☐ その他	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐	
				戸及び錠による対策	・対象箇所（　　） ・戸の性能　☐ CP品　☐ その他（　　） ・侵入可能なガラス　☐ 無　☐ 有（　　） ｶﾞﾗｽの性能　☐ ｶﾞﾗｽCP品　☐ ｳｨﾝﾄﾞｳﾌｨﾙﾑCP品　☐ その他 ・錠の性能　☐ 2以上装着 1以上の錠　☐ CP品かつデッドボルド鎌式　☐ その他 1以上の錠のサムターン　☐ サムターン操作対応品　☐ その他		
				雨戸等による対策	・対象箇所（　　） ・種類　☐ 雨戸　☐ シャッター　☐ 面格子　☐ その他（　　） ・性能　☐ CP品　☐ その他（　　）		
			開閉機構なし	ガラスによる対策	・対象箇所（　　） ・ｶﾞﾗｽの性能　☐ ｶﾞﾗｽCP品　☐ ｳｨﾝﾄﾞｳﾌｨﾙﾑCP品　☐ その他		
				雨戸等による対策	・対象箇所（　　） ・種類　☐ 雨戸　☐ シャッター　☐ 面格子　☐ その他（　　） ・性能　☐ CP品　☐ その他（　　）		

＊ メゾネット等で1住戸に2以上の階がある場合には、階の数だけ各欄を連結して使用する。

注) CP品：「防犯性能の高い建物部品目録（官民合同会議）」の掲載品（CPマークの表示許可品）